公立大学法人 熊本県立大学大学院
高度グローバル人材育成

熊本県立大学大学院では、専門的研究と海外経験の双方の経験を積むことができる、「高度グローバル人材育成」を開始いたしました。
本プログラムの入学者は、3年間の大学院博士前期課程の中で、1年間JICA海外協力隊に派遣され、東南アジアの新興国で海外活動を行うことができます。

プログラム概要

大学院への出願

志望する研究科の決定

3つの研究科より専門分野を選択

志望する研究科の教員との面談や大学院への出願に向けた準備を行います。
*本プログラムへの参加には博士前期課程への合格が条件となります。

1年目：大学院課程

博士前期課程 1年目

研究計画・渡航準備

1年目は、大学院の博士前期課程に所属します。また、次年度の海外での活動に向け準備を行います。

2年目：JICA海外協力隊

1年間の協力隊活動

舞台は東南アジア

2年目から3年目の前期に渡り、JICA協力隊として活動します。職種はコミュニティ開発/環境教育/日本語教育の3種類のいずれかとなります。

3年目：大学院課程

博士前期課程2年目

論文の作成

帰国後は修士論文提出に向け研究を再開します。また同時に就職活動も行います。

作成：熊本県立大学 国際教育交流センター

熊本県立大学

1.大学院について

熊本県立大学大学院

研究領域（３領域）

1. 文学研究科

文学研究科では、日本語学、日本語教育、日本文学、歴史学などの研究領域を有機的に連携させた研究指導を行う**日本語学専攻**と、英語学・イギリス文学・アメリカ文学・英語教育の4研究領域からなる**英語英米文学専攻**の2つの専門科で構成されています。

詳細はこちら

2. 環境共生学研究科

環境科学分野、空間システム学分野、栄養・健康学分野、地域資源活用学分野の4領域を組み合わせ、人間と環境とが共生するためのあり方、自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を科学的に追求します。

詳細はこちら

3. アドミニストレーション研究科

行政学や財政学を研究する**公共・福祉分野**、組織論・会計学などを研究する**ビジネス分野**、情報学や情報工学等を含む**情報学分野**から成り、地域社会の要請に応え得る問題解決型の教育研究を行ないます。

詳細はこちら

お気軽にお問い合わせください

ご関心のある方は、お気軽に以下連絡先までご連絡ください。本学の教員との面談や博士前期課程で研究されたい内容、海外での協力隊活動との両立など、相談しながら出願を決めることができます。

【Email】 ciee@pu-kumamoto.ac.jp
【Tel】096 - 234 -6867

大学院入試に必要な要件

【必要条件】
大学卒業ないし卒業見込みであること

【出願必須書類】
- **入学願書**
- **志望動機書**
- **卒業(見込)証明書**
- **成績証明書**

出願スケジュール

【秋季募集】(春季入学)
出願：7月又は8月
試験：8月又は9月
合否発表：9月又は10月

【春季募集】(春季入学)
出願：1月
試験：2月
合否発表：2月
***毎年の募集日程は熊本県立大学のウェブサイトで確認してください。**

2．JICA海外協力隊について

JICA海外協力隊

JICA海外協力隊とは？

概要

政府公認の海外ボランティアとして50年以上運営される日本最大の海外ボランティアプログラムです。協力隊は途上国に派遣され、SDGsの達成や地域の課題解決に向け、様々な種類の活動を行います。JICAから渡航費、現地生活費、活動費の支給を受け、現地でJICAスタッフのサポートを受けながら安全に活動する事ができます。

どのような活動ができる？

JICA海外協力隊にはさまざまな職種がありますが、多くは資格や業務経験が求められる職種です。本プログラムでは、博士前期課程の学生も参加が可能な次の３職種の中から、派遣職種を選んでいただきます。それぞれの職種で主な活用内容は異なります。詳細は裏面の問い合わせ先からご連絡ください。

高度グローバル人材プログラムにおける2種類の職種

1. コミュニティ開発/環境教育

コミュニティ開発は、地域住民の生活改善や収入向上、地域活性化を支援する職種です。フィールドワークや住民参加型のワークショップなどを企画・運営し、地域や住民の状況を把握し、住民とともに地域の開発課題解決のために活動します。活動分野は多岐に渡りますが、地域の課題と自身の強みを掛け合わせ、地域の開発課題に貢献します。

*類似の職種に変更になることもありますので、事前にお問合せください。

2. 日本語教育

日本語教育は、中学校・高校、専門学校等で、日本語を指導する職種です。言語教育に限らず、日本文化・日本事情に関わる授業や、日本文化祭、スピーチコンテスト等のイベントの企画、日本語教育教材やカリキュラムの作成・改訂、現地日本語教師育成や研修会の企画など、日本語教育に関わる業務も行います。

*日本語教育は、以下のいずれかの条件を満たす方が対象となります。
1: 大学での日本語教育主専攻ないし副専攻を修了されたかた
2: 日本語教師養成講座を修了されたかた
3: 日本語教育能力検定試験に合格された方

プログラムの魅力

語学力が身に付く

海外派遣前にJICAの訓練所で2ヶ月間の語学訓練を行います。また、海外での実践活動を進める中で、現地語の能力が鍛錬され、語学力が大きく磨かれます。

課題解決力が磨かれる

職種に関わる現地の課題を知り、創意工夫を凝らした活動を行う中で、問題発見力や不確実な状況での対応力が磨かれます。JICA協力隊の経験は、キャリア形成の観点からも有益です。

自己負担がない

JICA協力隊としての活動に伴う支出(旅費・宿泊費・毎月の滞在費、活動費)は、全額JICAが負担しますので、自己負担なく、海外での1年間の活動を行うことができます。

よくあるお問い合わせとご回答

派遣国・活動場所は？

インドネシア、ベトナム、カンボジアなど東南アジアの国を想定しています（派遣予定国の新型コロナウイルスの状況により変更することがあります）。

海外インターンシップと違う？

JICA協力隊は、途上国政府の要望に基づき、「途上国の人々のために貢献したい」方を派遣する公的な海外ボランティア事業です。

JICA協力隊に英語は必要？

派遣地域によりますが、概ね「英検3級」或いは「TOEIC®330点以上」で応募可能です。ただし、大学院入試への合格には一定程度の英語力が求められます。

派遣地域は安全ですか？

JICA海外協力隊は、隊員が活動可能な安全な国・地域にしか派遣されません。また、JICAが安全情報提供 、住居防犯対策 、通信連絡手段の確保 、緊急事態への対応などの対策を十分講じたうえで派遣を行います。

3職種以外の応募は可能？

プログラム派遣職種以外も応募も可能です。ただし、この場合一般の応募者として試験に合格する必要があります。また、一般の応募は通常2年間の派遣となりますので、博士前期課程の期間を更に1年延長することが必要になります。

研究活動との両立はできる？

海外活動中の研究は、指導教員と相談のうえ進めていただきます。大学で行える研究期間は1年半となりますので、十分な準備のうえ計画的に研究を進めていただく必要があります。

学費は3年分支払うのですか？

長期履修制度を利用することで、2年分の授業料で3年間の博士前期課程に所属できます。また、高度グローバル人材育成プログラムの入学者は入学金が半額免除になります。大学院で奨学金を利用した方が修了後に熊本県内の特定企業に就職した場合、奨学金返還に対する支援の対象になることがあります。詳しくは以下ウェブサイトをご覧ください。https://bit.ly/3I6SiyD

お問い合わせ先

出願に当たっては、予め指導を希望する教員と相談されることをお勧めします。
また、JICAと熊本県立大学のスタッフと相談しながら出願を検討することができますので、どうぞお気軽にお問い合わせください

【高度グローバル人材育成に関すること】
問い合わせ先：公立大学法人 熊本県立大学
国際教育交流センター
Email : ciee@pu-kumamoto.ac.jp
Tel : 096 - 234 -6867 (直通)
【大学院入試に関すること】
問い合わせ先：教務入試課入試班
Tel : 096 -321-6610
Address : 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号

【JICA海外協力隊に関すること】
問い合わせ先：JICAデスク熊本
Email : jicadpd-desk-kumamotoshi@jica.go.jp
Tel : 096-359-2130または090-7167-4233
Facebook : https://www.facebook.com/Kumamotoglocal
Address：熊本市国際交流会館2階(熊本県熊本市中央区花畑町4-18)